

むゆげ

92号
No.1092

2010(平成22)年
8月1日

自分の番
いのちのバトン

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で千二十四人
二十代前では一……?
なんと百万人を越すんです

過去無日星の
いのちのバトンを受けついで
いまここに

自分の番を生きている
それが
あなたがいのちです
それがわたしの
いのちです

みつと

相田みつを美術館 オリジナルカレンダーより頂きました



発行者:高槻市氷室町2-19-30

浄土真宗本願寺派

萬徳寺

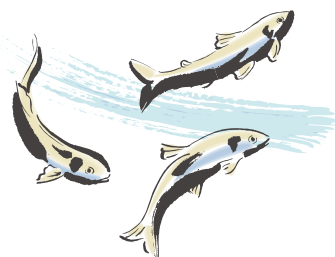
電話(072)696-0666

FAX(072)692-0769

お盆

ほのぼのの法話

しあわせ探し



「遠く宿縁をよろこべ」 『教行信証』

「へるか昔からめぐってきたご縁をよろこべ。どのようなご縁もただごとではないが、「南無阿弥陀仏」という真実の仏さまに遇ったことは、なにも勝る最高の喜びである」

人間の喜びとは、なかなか持続していきません。「大乘」という本にこんな内容の話が載っていました。

「二日幸せになりたければ、理髪店に行きなさい」

理髪店に行けば、髪をカットして髭もきれいに剃ってもらって、すっきりした気分になるからでしょう。次に、

「二週間幸せになりたければ、結婚しなさい」

幸せの頂点みたいに思っただけでも、一週間もたてば相手のアラが見えてきます。次に、「二ヶ月幸せになりたければ、馬を飼いなさい」

馬は人間みたいに文句も言わないし、馬に乗

るのは優越感を味わえます。しかし、エサの世話や小屋の掃除なども大変で二ヶ月もすれば、お手上げということでしょう。次に、

「二年間幸せになりたければ、新しい家建てなさい」

新しい家は気持ちもよく新鮮ですが、二年もたてば慣れてきて喜びも薄れていくのでしょう。次に、

「一生幸せになりたければ……」これが大事なところですよ。

「合掌の心を持った人になりなさい」

合掌の心とは、良い縁、悪い縁すべてのご縁に手を合わせて、慎み敬つていく心です。そもそも「しあわせ」とは、「仕合わせ」と書き、仕とはめぐる、仕合わせとは、「めぐり合わせ」を意味します。考えてみれば、何十億の人の中からこの家族に出会い、この妻に出会い、この友人に出会ったことは自らの力を超えた「であい」です。たまたま遇ったのです。

今の自分を形成している様々な出来事も、これから起こるであろう様々な出来事も、「めぐり合わせ」なのです。このご縁を「当たり前だ」と感じるのはなく、あること難(かた)し「ありがたいことだ」と、受け止めていきたいものです。



4月8日の花まつりには多くの子どもたちが本堂にお参りしていただきました。

4月10日・11日の永代経法要には大勢の門信徒の方々がお参りされました。



夏期・お経の練習会のご案内

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要でお勤めします
音楽法要を練習します。

◎日時 八月二十九日(日)

午後三時より午後五時過ぎまで

◎場所 萬徳寺 本堂

◆今年も暑い中での練習ですが、本堂は涼しい
ですよ。門信徒の皆さま、若い方も、子ども
たちもごぞつてご参加ください。



4月15日、本願寺での立教開宗記念法要に仏教婦人会の方々が団体参拝されました。



6月27日は、仏教落語の桂福車さんをお招きしての10回目の人生講座でした。

親鸞聖人七五〇回大遠忌 萬徳寺お待ち受け法要のご案内

◎十一月十三日(土)

●報恩講法座 午後二時より

◎十一月十四日(日)

●親鸞聖人七五〇回大遠忌法要

●稚児行列 午後一時

●氷室公民館スタートです

●法要 午後二時



7月5日・6日は、島上西組の仏教婦人会の方々により、3年に一度の本山念仏奉仕団でした。萬徳寺からも13名がご参加いただきました。暑い中、本当にご苦労様でした!



7月16日、西田知伸・照美ご夫妻が本山で帰敬式(おかみそり)を受けられました。



住職の ひとり言



◆梅雨もようやく終わり、一転してうだるような暑さの中でお盆の季節を迎えました。お盆の一時ひしときどうぞ皆さま、お浄土に還られた亡きお家族を偲しのびながら、今を生きている私たちが今日一日いちにちいただきたいのちぢを深く味わっていききたいものです。

◆法事・法座でお念仏の声がかたかた聞かれなくなって久しいですが、真宗のみ教えは、私たちが称える南無阿弥陀仏のお名号なみだうぶつによってのみ救われていくという教えです。仏の名号を聞くきく(自身が称えるとな)ことよって救われるということです。法座の席で称名しょうみょう念仏がなくなったのは、それだけ浄土真宗のみ教えが私たち現代人にわかりにくくなってきたのでしょうか。お盆の一時、どうぞお家のご仏壇の前で、お墓で「ナマンダブ、ナマンダブ」と、お念仏を口に出してみても下さい。小さな声で何度も声に出して下さい。そうした訓練の積み重ねで、お念仏が自然と出てくる身になっていくのです。

個人情報により非表示にさせていただきます。

個人情報により非表示にさせていただきます。

土に還られました。尊いととほのちぢが阿弥陀さまのお側に還かへつていかれました。この尊いととほご縁に、阿弥陀さまの願いであるねがひ「お念仏申してくれよよ」のお喚よび声を聞きとり、手を合わせ、お念仏申して下さいませ。

合掌

個人情報により非表示にさせていただきます。

人の親となり、人の子として生まれまされたのはよくよくのご縁です。如来さまのお慈悲の中で、仏の子として、すくすくと大きく成長してまいりますよう念じています。

◆六月二十七日『人生講座』にお参りの皆さま方から頂いた募金二万六千二百十円は、南九州口蹄疫被害救済支援献金とさせていただきます。ご協力、ご支援誠に有り難うございました。



個人情報により非表示にさせていただきます。